

# SSKW 働こう障害者も 働けるんだオしたちも

# こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会 責任者：藤田 勝春 編集責任者：鈴木 順子  
編集：こぶし作業所 (〒321-0902) 宇都宮市柳田町1401番地



成本コンテナの選別作業 (こぶし作業所)

特集  
ボランティア・実習生大集合!!

No.270



## ～ 目 次 ～

- ① 特集..... 2～3 P
- ② こぶし作業所のページ..... 4 P
- ③ けやき作業所のページ..... 5 P
- ④ サポートセンターのページ..... 6 P
- ⑤ セルプ・みらいのページ..... 7 P

# ボランティア。実習生大集合!!

こぶしの会の各施設では、たくさんの方のボランティア・実習生の方に協力いただいています。施設としても大いに刺激となっています。今回の特集では、日頃お世話になっているボランティアさんや実習生の「ナマの声」にスポットを当てていきます。

## こぶし作業所

菊池 栄さん(六〇代)

初めてこのような施設を見学する機会を得まして、大変勉強になりました。

知的障害を持った人が自活の道を見出すのは大変困難なことで痛感しました。即ち健常者がお互いに支えに行くことの重要性を認識しました。このような施設で働いている皆さんの並々ならぬ苦勞を目の当たりにして、これから後自分の身のまわりに対してもしっかりと積極的に役立っていくことが重要であり、具体的に活動に参画できればと思います。

もとの生活に戻るとついまた忘れ

がちになり易いですが、このような機会を持って、身近に支えることができるような気が致します。

松本 真 児さん(二〇代)

こぶし作業所に来るようになってから三ヶ月位がたちますが、私は貴重な経験だと思っております。利用者の方々の個性を知ることが重要だと思われます。広い意味では、社会には様々な人がいる、ということが分かります。様々な人々が、共に生きていけるような社会になっていくべきであると、個人的には思っております。

私は現在、介護福祉士養成校へ行く予定でおりますが、今後も、こぶ

し作業所で得たものを生かしていきたい、と思っております。

## けやき作業所

小鍋 寿 美さん(一〇代)

へ体験してみてもうでしたか?

以前来たときは、利用者さんとうまく接したらいいか、ぜんぜんわからなく休み時間も一人でいることが多かったのですが、今回は私のことを覚えていてくれた方がいてさまざまなお話をする事ができました。職員の方も変わっていましたが、皆さんやさしく接してくれました。職員の方の接し方も参考になりました。た

たとえば、利用者さんのほとんどが年上なので敬語を使っていたり、毎朝体温を測り体調管理に気を配っているなど、今まで実習で行った施設ではしていなかったことだったので勉強になりました。

へけやき作業所に今後期待したいことはどんなことですか?

作業して思ったことは作業をあまりやらない方が何かいまして。そういう方にその方が持っている個性を生かして、けやき祭りですの方の書いた絵や陶芸などの作品を売ったりしてはいかがでしょうか。絵がとてもうまい方はさまざまな絵を描いていけば途中で投げ出さないような気がしました。

また、多くの地域行事に参加するのも良いと思います。私の通っている宇都宮短期大学で行われる学校祭でもさまざまな方が参加するのを楽しみにしております。ぜひ、時間等の都合が合いましたら足を運んでください。多くの利用者さんがより楽しく作業できるような施設になることを期待しています。

松本 美奈子さん(二〇代)

〈体験してみようでしたか?〉

知的障害者の施設は初めてだったので最初は戸惑いが多く、どうしたらいいのかわからなくて困ったりもしましたが、時間が経つにつれ少しずつ対応の仕方がわかってきて、利用者の方と話をしたり笑顔がでけるとうれしくなりました。また、知的な障害を持った人に対する社会資源が少ないことや、一人で自立した生活を送ることの難しさを知り、自分なりにいろいろ考えるきっかけとなりました。この体験をこれから働く中で生かしていけたらと思います。

とはなんですか?〉

知的障害者の方が一般企業で働いたり、人との交流ができるようになるきっかけになっていただけたらと思います。

## サポートセンター

中林 末子さん(五〇代)

(押し花 講師)

皆さんの楽しそうに作っている顔を見るのが楽しみに毎回チエをしばらくして次回の作品を考えています。

未熟な私を待っていてくださってありがとうございます。

これからもがんばりますので宜しくお願いします。

小筆 公子さん(五〇代)

(押し花に毎回参加してくださる方) 毎回楽しい企画をしていただきありがとうございます。

都合のよい時のみ参加させていただいておりますが、とても有意義なひとときです。

これからも出来るだけ協力して

いきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

小藤 幸夫さん(三〇代)

(八月から行事に参加して下さる方) ゲームや花火などを久しぶりに多くの方とやれて良かったと思います。

サポートセンターと他の施設の人と交流が出来て良かったと思います。またこういう機会があればいいなと思いました。

## セルプ・みらい

浅川 温美さん(二〇代)

みらいにボランティアに通い始め、はや半年…今や毎週水曜日に行くことが日課となり、行けない週は寂しくなっています。

利用者さん、職員さんと仲良くなるにつれ、みらいにボランティアに行くのが楽しみになりました。みらいに行くのと自然と笑顔になります。ボランティアに来てくれた友達も、みんな「また行きたい!」

「セルプ・みらい」に通って数ヶ月、毎回ほんの短い時間ですが、作業所の中へ入ると近くに居る仲間の「こんにちは」の挨拶に次々とみんなが笑顔で迎えてくれるまでに、そんなに時間がかからなかったのは、とても以外で嬉しかったことを思い出します。そして、一緒に作業を終え一人の帰りの車中はルンルン気分でした。個性あふれる仲間の皆さんにふれあい、私も元気をいただいています。作業所内ではあまり表情を変えず笑うことも少なかったAさんとは、プールで一緒に浮かんたり歩行をしたり…最近、プールの中では素敵な笑顔です。少し笑顔のお手伝いできたのかな? Aさん達にまた会いたくなります。

高橋 紀代子さん(四〇代)

# こぶし作業所ニュース

## ポリショイサーカス

9月20日(土) 毎年恒例の、ポリショイサーカスの招待がありました。  
こぶし作業所では、利用者26名と、職員・ボランティア10名、合わせて36名が参加をしました。  
どの行事よりも参加人数が多く、改めて楽しい企画なんだとつくづく感じました。  
毎年抽選になり参加できない年もありましたが、今年は、休日のせいもあってか参加する施設も少なく、スムーズに参加することができました。  
当日の朝、台風が心配されていましたが何とか入場することができました。これも、みんなの日頃の行いが良かったからなのかもしれません。  
サーカスが始めると、皆落ち着いて座り観覧！利用者の皆さんは、何が起こるのか興味津々。  
企画側の挨拶が終了するとかわいい動物たち、馬や熊や犬が次々と顔をあらわし、たくさんの芸を見せてくれました。ピエロが芸を始め、私たちの前で一芸をすすめましたが、皆は突然のことでびっくりしたのか、遠慮してしまった場面もみられました。  
最後に、空中ブランコが始まると、真剣な眼差しで注目し、ブランコから落ちてしまうと(アーララ…)と声をあげていました。ハラハラ・ドキドキでした。  
2時間の観覧が終了しました。とても楽しい時間を過ごすことができ、本当に良かったと思います。利用者の皆も、「また行きたい!」と話しています。



## 保護者、利用者、職員交流会

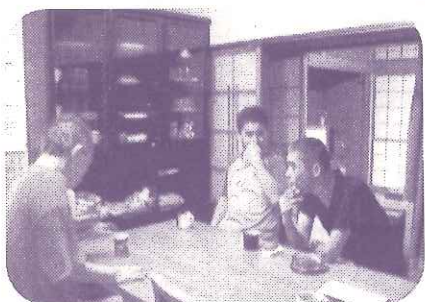
9月13日(土)、保護者会主催で「保護者、利用者、職員交流会」が行われました。当日は芳賀町「友遊はが」で買い物や温泉を楽しみ、食事の後、梨狩りをしてきました。以下の文は、当日参加した木村浩子さんが交流会の感想を寄せてきたものです。

わたしは	こぶしから	いけだんと	
あずまおかんの	ライトバンで	のつていきました	
ここから	バスにてのつて	みんな なかま	
しゃくいん	おかあんと	おとうさんと	のつていきました
そして	あとゆうまに	ついて	みんな
それぞれに	わかれて	かいものの人や	
おららに	いくと	わたしは	かいものしました
つけもの	せんべい	かわいいものでした。	
木村浩子			

3 けやき作業所

## グループホームの半年

メンバーたちのグループホームで一日を紹介します。グループホームの朝はとても早いです。鬼のような職員が叩き起しているわけではなく、早起きの方が多くいます。もちろんひとそれぞれなので、四時頃から起きて掃除・洗濯をしていく人もいれば、起こされるまでいくらでも寝ている人もいます。食事は皆さん楽しみにしている時間です。朝早く起きて作ってくれている人がいるかと思えば、職員の隣に立ち、味見をしながら手伝い、ついつい手がでて、味見をしているうちに朝食を食べ終えてしまう人もいます。日中活動から帰ってくるとそれぞれ自由に過ごします。散歩へ行く人。買い物へ出かける人。ゴロゴロしている人など様々です。休日はホリデイに参加する人もいて、余暇活動も充実してきました。



初めは新しい環境・職員にとまどう方もい

ましたが、大分慣れてきました。共同生活の難しさ・楽しさを職員と利用者が共に学びながら、なんとか半年が過ぎました。

## フレキシブルな風を

今回は今年から、けやき作業所に就任された荒井麻利子さんにいろいろな質問をしてみました。

福祉を志したきっかけはなんですか？

福祉を志したきっかけは、特にこれといってないのですが、漠然と福祉の仕事をしたという気持ちが高校の頃から持っていました。出身学校は東北福祉大学です。実習を知的障害者更生施設で行い、とても楽しく実習ができたことが今の職業についていることにつながっていると思います。

現在、けやき作業所でどんなことをしていますか？

けやき作業所デイサービスセンタ

ーで、利用者の方と作業をしています。現在は散歩、カセットストロング作業(ビニールハウスのビニールを固定するプラスチック製品製造)を中心です。また、生活支援もしており、買い物の同行や通院対応なども行っています。

けやき作業所の第一印象は？

とても明るい雰囲気の仕事所だと思いました。初めてけやき作業所に来たとき、とても緊張していたのですが、利用者の方が握手をしてくれ

# けやき作業所

たり、話しかけてくれたりして緊張感がとれました。

どうしてけやき作業所で働こうと思ったのですか？

学校での実習を知的障害者更生施設で行ったのですが、とても楽しく実習でき、知的障害者の方と働きたいと思いました。利用者の方が主体となっていることを一番大事にして、けるけやき作業所の方針に魅力を感じました。

今まで働いたところと比べて違うところはどんなところですか？

今までは、老人保健施設で働いていました。高齢の方たちばかりだったので、静かでしたが今はとてもにぎやかです。仕事も座っている仕事が多かったです。ですが、今は常に動き回っている感じです。体を動かして利用者の方々と楽しく触れ合っているほうが性に合うなと思いました。

仕事をしていて難しいと思うところはどんなことですか？

コミュニケーションをとることが難しい利用者の思いがわからないときですね。話し言葉を持っている方でも本心では言っていることは違うことを考えている場合もあるなど、人の気持ちがわかるということは難しいと思います。でも、少しでも利用者の方々に近づきたい、近づこうとする気持ちが大切だと思いがら仕事に向かっています。

これからの抱負を教えてください

知的障害者施設で働くのは初めてで、九月で半年目になりました。もっともっと勉強し、専門家という名に値するようになりたいです。そして、もっともっと仲間の方の支援に少しでも多くお力添えできたらと思います。よろしくお願ひします。



県東ライフサポートセンターだより

# ほっとCHA

早いもので9月を迎え秋の便りが届く頃になってまいりました。(今年の夏は短かったように思うのは私だけでしょうか?)

食欲の秋、スポーツの秋… 何をしまあか?

## 施設見学に行ってきました!

去る8月22日(金)家族会のみなさん5名、第2作業所スタッフ1名、ほっとCHAスタッフ2名で茨城県大子町まで施設見学に行ってきました。行き先は「地域生活支援センターメンタルサポートステーションきらり」でも、その前に少だけ避暑をしに袋田の滝にも寄ってきました。今年は水量が豊富のため雄大な滝でした。暑い日だけにとても気持ちが良かったです。

きらりは名前だけでなくスタッフの皆さんも建物も素敵なおとこでした。また、地域の方々に障害の有無を問わずに相談を受け付けており、利用するメンバーさんにとても憩いの場になっているようです。

メンバーさんの活動も集まった方の話し合いにより内容が決まり実施しているとのこと。まだ施設ができて間もないとのことですが大子の自然にとけこむような素敵な雰囲気でした。

## 第2回 フラワーサークル(押し花)

先月に続き2回目の押し花を行いました。今回は定規に押し花を貼り付け作品を作りました。今回は1名の方がご家族と初めて参加されました。行事を通して新しい方と関わりをもてることはうれしいですね!参加された方の感想です。

♪とても楽しかったです。また来たいと思います。勉強になりました。

♪今回も楽しいひと時を過ごすことができました。定規は2本持ち帰りなので1本お友達にあげようと思います。

♪初めて参加しました。作品はとてもきれいにできてとても楽しく過ごさせていただきました。スタッフの方々もやさしく思いやりにあふれ、安心してこれからも娘も参加させたいと思いました。

♪先生今日はとても楽しかったです。また先生に会いたいです。先生大好き!

## と一緒にいかがですか?

現在ほっとCHAでは12月のクリスマス会にむけてメンバーさんとの話し合いの場を設けております。というのも、今まではスタッフがみなさんに行事を提供するというかたちが大きかったのですが、今回は企画の段階より利用者による利用者のための楽しい集まりを皆でつくっていきこうと初の試みをしてみることにしました。是非多くの方と一緒に楽しい内容を考えていきたいと思っております。

### 《第2回 クリスマス実行委員会のご案内》

日時 平成15年10月8日(水) 13:00~14:30

場所 ほっとCHA リラックスルーム

\*今後何回か実行委員会を実施いたします。参加していただける方はできるだけ毎回参加をいただけますようお願い致します。

### ◆ 10月のほっとCHA ◆

1日(水) カラオケDAY 座談会

8日(水) クリスマス実行委員会

10日(木) フラワーサークル(押し花)

12日(日) 連休開所

14日(火) ストレス教室

17日(金) 夕食友の会

22日(水) 学習会

24日(金) 家族会

### ◆ 10月の休所日 ◆

4日(土)・5日(日)

11日(土)・13日(月)

18日(土)・19日(日)

25日(土)・26日(日)

# みらいニュース



## プールに行ってきました!

八月二日(火)、下館にある筑西遊湯館内プールを利用してきました。はじめは、一万人プールを利用する予定となっていました。当日雨となつてしまい屋内プールを利用することになりました。

遊湯館に着いてみるととても立派な建物で、新しく綺麗な施設でした。利用者はジャグジープール・遊泳用プール・競泳用プールでそれぞれ思い思いに楽しみ、遊泳用プールでは滑り台をする人、ジャグジーではゆつたりと、競泳用プールでは二五メートルプールを端から端まで歩いたり、普段の作業では見られない表情もみることもできました。

利用者からは「初めて来たプールの施設だったけど楽しかった」、「来年は二万人プールに行きたい!」などの感想が聞かれました。



## 学習会の開催

今年四月一日(火)から始まった支援

費制度は、現場においてもさまざまな変化をもたらしています。そのひとつが「個別支援計画」です。基本的に利用者への支援という意味では同じですが、より個別性の強い支援計画が求められます。そこで、こぶし、けやき同様、計画書作成について三回に渡り学習することになりました。八月二日(木)に第一回が行われました。講師は、こぶしの会長期計画策定委員であり、第三者評価委員でもある葭田美知子先生です。支援者の見方や理解の仕方を一致させることから始めることが大切で、そのためには、

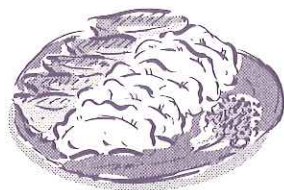
- ・よく観察し、数値化することで状態像をはつきりさせる。
- ・目標を長期にかかげず達成の確認ができるよう短期間にする。

など基本から学ぶことができました。最後に支援員として、支援する側のスタンスを少し下げ「自分」から行動できるよう、役割、範囲をきちんと持って支援する事の大切さを「介」の字を使って教えていただき、あつという間の二時間が

過ぎました。お忙しい中、いつも元気で笑顔いっぱい葭田先生、ありがとうございました。

## しらさぎ祭り

九月七日(日)、上三川町の日産栃木工場工場主催による「しらさぎ祭り」に参加してきました。みらいの会は宇都宮餃子、ところてん、ジュース、缶バツジなどを販売。特に餃子は常にお客さんが列を作り、五〇食を完売することができました。要員として参加してくださいました利用者や保護者、ボランティアのみなさんは汗をかきながら一生懸命に調理・販売をしてください売上に貢献してくださいました。お祭り終了後には日産工場のご好意により当日飲まれたジュース等のアルミ缶を回収させていただきました。おかげ様で本当に充実したお祭り参加となりました。



## 第26次国会請願署名募金結果報告

第26次国会請願署名募金運動は、今国会における衆議院・参議院の審査をもちまして終了いたしました。結果は衆議院・参議院両院とも不採択という信じられない結果に終わり本当に残念な限りです。

栃木支部の提出した署名21,529筆、募金1,564,646円は皆様のご理解と期待を背負い、5月15日の国会請願で国会議員の方々に手渡してきましたが、その願いが届くことはありませんでした。今回の審査は参議院の厚生労働委員会では約5分足らずで終了してしまうなど、過密な国会日程が背景にあるにせよ今の審査の状況は早く改善されなければならないと考えます。

しかし、昨年12月9日に行われた「がんばるDAY」、約8ヶ月に及ぶ署名募金活動の願いは、今国会で不採択になろうとも決して色褪せるものではありません。今回は署名・募金をしてくださった方々、一生懸命署名募金活動に取り組んでくださったすべての方々に感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

本当にありがとうございました。そして第27次国会請願もう始まっています。また皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

発行所

郵便番号 251-0013

東京都世田谷区砧六-1-26-11  
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円

### 社会福祉法人 こぶしの会

- 法人事務局 こぶし作業所 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401  
TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
- 生活支援センター TEL 028 (613) 5703  
E-mail kobusi@chive.ocn.ne.jp
- キッチンセルプ ☎320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内  
TEL 028 (622) 0966
- こぶしのときわ荘 ☎321-0954 栃木県宇都宮市元今泉6-14-20  
TEL 028 (662) 5533
- けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244  
デイサービスセンター TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789  
E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532  
TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
- 県東ライフサポートセンター TEL 028 (687) 0311 FAX 028 (687) 0325  
E-mail elsc.13.10.1@athena.ocn.ne.jp
- すずらの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2  
TEL 028 (677) 4430
- けやきハイツ ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178  
TEL 028 (677) 2876
- 第2けやきホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1025  
TEL 028 (677) 0776
- セルプ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23  
TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177  
E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp